

	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
イベント	A			B C D	C F D G E H	D H F G	D H

詳細・追加情報は、ウェブサイトでチェックしてください。
<http://www.swashweb.com/jancapre>

シンポジウム

**アジアのHIV/AIDSとヴァルネラブル・コミュニティ
セックスワーカー、ドラッグユーザーのコミュニティとプロジェクト**

11月24日 13:00～17:00

会場：東京・文京シビックセンター B 2 F 研修室 A・B (地図 5)

主催：保健分野NGO研究会 共催：アフリカ日本協議会、SWASH

アジア・太平洋では、セックス・ワーカーやドラッグユーザーなどのヴァルネラブル・コミュニティが、HIV/AIDSへの取り組みの最前線 راってきました。この地域でのHIV/AIDSへの取り組みを進めるには、こうしたコミュニティとの連携が不可欠です。このセミナーでは、それぞれのコミュニティのHIV/AIDSに関する活動の最前線の実践例を紹介し、将来の連携の可能性を探ります。

お問い合わせ：アフリカ日本協議会 03-3834-6902 ajf@mtb.biglobe.ne.jp

シンポジウム

**アジア・太平洋地域で現実化する「HIV治療へのアクセス」
～日本は何をなすべきか～**

11月27日 15:40～18:00

会場：神戸国際会議場 (地図 2)

主催・共催：アフリカ日本協議会、アーユス、シェア、JaNP+、2003年度保健分野NGO研究会（外務省NGO活動環境整備支援事業）
現代世界のエイズ問題の最大の課題が「治療へのアクセス」です。2001年に始まる抗エイズ薬の価格低下によって、アジア・太平洋地域でも抗エイズ治療が徐々に開始されつつあります。しかし、知的所有権保護などの制度上の問題や、医療インフラの未整備や人材不足などキャパシティ上の問題など、多くの障壁が存在します。治療を必要とする全ての人が治療にアクセスできるようにするために何が必要かを探ります。

お問い合わせ：アフリカ日本協議会 03-3834-6902 ajf@mtb.biglobe.ne.jp

写真展

写真展「ブラジル：生に至る病」

11月27日～29日

会場：ICAAPコミュニティスペース

主催：7th ICAAP コミュニティスペース

神戸在住で京都の大学に通う渡邊文隆さん。彼は昨年サンパウロに滞在、HIV/AIDSとともに生きる人々を支援する団体でボランティアとして働いた。その間に撮りためた写真に自らコメントをつけて展示することで、HIV/AIDSとともに生きる人々の生き生きとした暮らしぶりを伝えたいと願う。写真展は故郷の弘前を始め奈良、大阪でも開催。

お問い合わせ：ICAAPコミュニティスペース（小南） 078-391-8229 icaap7cs@yahoo.co.jp

アート・イベント

kavcaap2003 HIV/エイズ 未来のドキュメント

11月27日～30日

会場：神戸アートビレッジセンター(地図 4)

主催：第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議kavcaap実行委員会 共催：神戸アートビレッジセンター、第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議組織委員会、ICAAP2005ブレ企画「ユース・フォーラム2003」実行委員会
kavcaapは、2005年に神戸で開催予定の第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議の文化芸術部門関連イベントです。エイズ対策の鍵を握る若者を対象に、アートの分野から、エイズについての必要な情報とインパクト伝えること、予防や治療への理解と関心を深めることが目的です。初回となる2003年は「映像」を中心に「見えないエイズを見えるようにできるか？」を、試みます。

お問い合わせ：kavcaap実行委員会（大場） 078-391-8229（木～日13:00～22:00）

kavcaap2003pi@hotmail.com（kavcaap実行委員会） <http://www.kavcaap.org>

フォーラム

移住労働者フォーラム

11月28日 19:00～

会場：神戸学生青年センター（地図 3）

共催：アーユス仏教国際協力ネットワーク、外国人医療・生活ネットワーク、NGO神戸外国人救援ネット 協力：移住労働者と連帯する全国ネットワーク 後援：神戸青年学生センター

アジアでは、貧しさから国境を越える労働者たちに適切な情報やケアが提供されないことがエイズの感染拡大をより深刻にしている。アジアの移住労働者たちをエイズの影響から守るために各国政府・市民は何をなすべきか、CARAM Asiaのシャルーナ・バーギスさんに、各国での調査をもとに報告してもらう。さらに、日本側から、在日外国人のHIVについて現状を報告。共通する課題と解決のための方法を議論する。

お問い合わせ：（特活）アーユス＝仏教国際協力ネットワーク（枝木） 03-3820-5831 mika@ayus.org

シンポジウム・発表・展示

ひょうごエイズフォーラム2003

11月28日 13:00～17:00 11月29日 10:00～16:30

会場：神戸市教育会館 (地図 1)

主催：兵庫県、BASE KOBE、特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター兵庫支部

共催：財団法人神戸YMCA

エイズポスターコンクール表彰式（兵庫県）

エイズ講演会（兵庫県）

LIVE LOVE LIFE AIDS 写真展（神戸YMCA）

メモリアルキルト展（奈良HIV情報センター＆MQJ）

世界と日本のAIDSポスター＆コンドーム展（JHC兵庫）

「セーフターセックスを考える」活動発表（ハートブレイク）

「地方のエイズ拠点病院における保健所とNGOの連携」シンポジウム（JHC和歌山）

メッセージキルト展＆発表会（地域の学校）

「一緒に考えよう、AIDSのこと」（JHC Young Sharing Program）

「やってまっせAIDS教育～学校での授業実践を通して」（JHC大阪）

その他、詳しくはJaNCA広報WGのホームページをごらんください。

お問い合わせ：ひょうごエイズフォーラム2003 090-7752-6538（矢川） 090-2181-4044（木下） kobe@npj-jhc.com

展示

メモリアル・キルトディスプレイ

11月28日 13:00～17:00 11月29日 10:00～16:30

会場：神戸教育会館 (地図 1)

主催：メモリアル・キルト・ジャパン、奈良HIV情報センター（エイズ資料館）

奈良HIV情報センター：メモリアル・キルトの作成

メモリアル・キルト・ジャパン：ティベアワークショップ。AIDSで亡くなった人のために作られ、その人の人生を現すメモリアル・キルト。キルトが作られてきた歴史は日本のHIVの問題の歴史でもあります。そして今、作られているメモリアル・キルトを共に作ることでその人の生き様を身近に感じてください。

お問い合わせ：メモリアル・キルト・ジャパン（寺口） 06-6459-4098 mqj@teraguchi.net

フォーラム・展示・交流スペース

ユース・フォーラム2003 in 神戸

11月29日～30日

会場：神戸国際会議場(日本エイズ学会内) (地図 2) 神戸アートビレッジセンター (地図 4)

主催：ユース・フォーラム2003実行委員会 協力：ICAAPブレ企画 後援：THE BODY-SHOP

「ユース・フォーラム2003」は、10～20代のエイズに関心を持つ若者同士が、当事者として意見交換や展示・発表などを行い、ネットワーク作りやエンパワメントを行うイベントです。

29日（土）午後：国際フォーラム「アジア・太平洋地域のユースが直面するエイズに関連する課題について講演する国際フォーラム」

30日（日）11:00～18:00 ユース・ネットワーク企画～ツクル、ツナガル、ツギニク～「若者が取り組むエイズ活動の発表、展示、ワークショップなど参加者主体の交流イベント」

お問い合わせ：ユース・フォーラム2003実行委員会 yfkansai@yahoo.co.jp

JaNCA:Japan NGO Coalition against AIDS

神戸会議NGO連絡会

JaNCAは、神戸ICAAPに向けて、NGO間の連携、コミュニティによる提言活動、ICAAP主催者との連携、コミュニティへの情報提供などの課題に取り組んでいるネットワークです。国内のエイズ関連NGO約40団体に参加しています。

目的

神戸ICAAPに向けたコミュニティ参与を計画・実施し、会議のインパクトを市民社会に還元すること。

長期目標

アジア太平洋地域及び日本国内におけるHIV/AIDSへの社会的対応への貢献

活動計画

- 神戸ICAAPを契機にしたNGO間の連携
- NGOコミュニティの強化
- 神戸ICAAPの企画・運営への参画
- 市民社会への情報発信
- 国際ネットワークとの連携や課題の共有

*現在は主にメーリングリストを用いて情報交換を行い、数カ月に1回の会議で議論や活動内容の決定を行っています。

JaNCAに参加しませんか？

エイズに関連する活動を行っているNGOなら、誰でも参加できます。

参加希望の方はHPをご覧ください。<http://www.swashweb.com/jancapre>

7th ICAAP: International Congress on AIDS in Asia and Pacific

第7回アジア・大太平洋地域 エイズ国際会議

ICAAPは、アジア・大太平洋地域を対象に行われる国際会議です。2000年にメルボルンで開催された第6回ICAAPでは、NGOやコミュニティは会議の運営への参加はもちろん、PHA、セックス・ワーカー、ゲイおよびMSM、トランスジェンダー、移民労働者、ドラッグ・ユーザーに代表される国際的な当事者ネットワークの集合体（Seven Sisters）との協力により、7つの委員会活動を担いました。

この会議を受け、第7回ICAAPでは、JaNCAのメンバーをはじめ、NGOが積極的に参加できるような体制を作ってきました。第7回ICAAPのテーマは「科学とコミュニティの英知の統合（Bridging Science and Community）」です。

もともと7th ICAAPは今年11月に予定されていましたが、SARS再燃の可能性が高く、会議や開催地に混乱が生じることが予想されるため、2005年に延期して開催されることになりました。JaNCAでは、引き続き2005年をめざして活動を続けていく予定です。

7th ICAAP公式ホームページ

<http://www.icaap7.jp/jpn/index.html>

